

工業用水道事業会計
工業用水道事業収益の推移

(単位:千円)

項 目	平成28年度 決算	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 当初予算	令和2年度 当初予算	前年度増減
工業用水道事業収益						
給水収益	1,320,653	1,313,788	※1,200,150	1,205,357	1,206,008	651
共同施設管理収益	320,922	321,494	314,258	333,456	328,168	△ 5,288

※ 平成30年度より、責任水量制から二部料金制に移行

工業用水道事業会計

尼崎市の工業用水道

給水開始時期	昭和 32 年
市内配水能力	170,000m ³ /日
市内の配水管総延長	62 k m
給水社数	52 社
年間総配水量	22,062,000m ³
1 日平均配水量	60,444m ³
年間総給水量	21,800,000m ³
1 日平均給水量	59,726m ³

(1) 工業用水道事業の施設のあり方（配水場の設備更新ほか）

65,817

将来においても安定的に事業を継続していくため、他事業体と連携した施設のあり方の検討などを行うとともに、共同施設である園田配水場等の設備保全を行う。

(28,093)

- ・園田配水場集中監視制御設備更新工事
(令和 2、3 年度工事)

※ 債務負担行為（2 年度提出分）金額 439,702

- ・江口取水場受変電設備等更新工事設計業務委託 等



園田配水場 供用開始：昭和 42 年

(2) 管路の計画的更新と維持管理

480,854

「重要度」「老朽度」「耐震性」の 3 つの観点から更新の優先順位を定め、配水管の整備工事を行う。

(256,884)

- ・配水管整備工事

管径 200～1,000 mm 延長 600.0m

※ 管路耐震化率 見込み 64.0%

(3) 業務の効率化（業務執行体制の見直し）

72,708

将来にわたって安定的に事業継続していくための経営効率化の取組の一環として、業務執行体制の見直しを図る。

(0)

- ・導水管・配水管維持管理業務の一部委託
業務内容：配水設備（弁、栓、水管橋等）の日常点検等
 - ・園田配水場運転監視操作業務の一部委託
業務内容：平日夜間、土日祝日及び年末年始の運転監視業務
- ※ 債務負担行為（2 年度提出分）金額 120,026